

みはら  
MIHARA

あなたと  
議会を  
むすぶ

VOL. 43

# 市議会だより

平成28(2016)年2月1日



## 今号のもくじ

だるま行列色塗り

| ページ | 主な内容  |
|-----|-------|
| 2   | 議会報告会 |
| 3   | 決算審査  |

| ページ  | 主な内容               |
|------|--------------------|
| 4    | 補正予算審査<br>次回定例会の日程 |
| 5～12 | 一般質問 16名の議員が質問     |

| ページ   | 主な内容     |
|-------|----------|
| 13～14 | 常任委員会報告  |
| 14～15 | 定例会議決結果  |
| 16    | わがまちに望む夢 |



# 議会報告会を開催しました

第2回議会報告会を平成27年11月24日から11月30日までの間、市内10会場（中学校区単位）で、市民からの課題の受け止めや意見交換、市の施策の概要説明等を目的に開催しました。

市民の生の声を聞くという目的が達成された一方、参加者が前回よりも減少するなど、今後、内容の改善が必要だと捉えています。

また、いただいたご意見等は、議会として取り組むこと、担当部署に伝えること等、内容を精査し適切に対応します。

報告会でのご意見等は、ホームページにも掲載しますのでご覧ください。



参加者総数：206人

## ～いただいた意見（抜粋）～

### 【意見交換のテーマ】

防災、人口減少、少子高齢化、農業問題、  
ごみ問題、移住問題、交通問題、  
まちづくり

### 議会について

- 新庁舎整備について、開かれた透明性のある議会にしてほしい。
- 陳情・請願は同じように扱ってほしい。
- 昨年の報告会で意見を言ったが、報告書に掲載されていなかったなので、掲載するようにしてほしい。
- 議会の意見書の扱いが見えるようにしてほしい。
- 他の会場の議会報告会の質疑の内容を報告してほしい。

### 防災について

- 国道185号が冠水したら避難や物資の輸送が困難になるため、景観林道への経路を調査してほしい。
- 災害時の情報伝達が大切であり、コミュニティFMは広範囲をカバーしてほしい。
- 木原小学校は拠点避難所であるが、土砂災害危険地域である。安全地域を確保して、明示してほしい。
- 住民が地域を守る意識が必要。議員は市民のためにもっと動いてほしい。
- 大雨の警戒メールが遅かったなので、もっと早く出すようにしてほしい。

### まちづくりについて

#### 人口減少

- 定住促進を図るために空き家の活用をしてほしい。

#### 少子高齢化

- 少子高齢化により税収減になる。雇用対策や子育て等、対策に取り組んでほしい。

#### 農業問題

- 放棄地の利用について示してほしい。

#### ごみ問題

- 河川へのポイ捨て、タイヤ、自転車など多量のごみが投棄されている。投げ捨てなど不法投棄の規制を徹底してほしい。

#### 交通問題

- フェリーの船便が減少すると過疎になる。島の人へも目を向けてほしい。

#### その他

- 木原地域では、緊急車両が通行できるよう道幅を拡幅するなど、現状を把握し計画を立ててほしい。
- 町内会長はボランティアが多く、会長をやる人が少なくなっている。町内会長の役割を考えてほしい。

参加者の皆さんから、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

当日、皆さんからお寄せいただいたご意見・ご要望・アンケートは今後の議会活動に反映してまいります。

# 決算特別委員会の概要

決算特別委員会は、平成27年10月13日から10月16日の4日間の日程で開催し、平成26年度の決算審査を行い、認定しました。ここでは、決算特別委員会での主な質疑の内容を紹介します。

## 決算特別委員会（質疑の抜粋）

### 【総務費】

#### 交流定住促進事業

**Q** 空き家バンク物件の賃貸借新規契約について他都市からの定住は何件か。

**A** 空き家バンクの成立件数は、市内の成立が1

件、売買が1件、市外からの賃貸が8件で、計10件である。

**Q** 東京、大阪で定住フェア開催をしているが、その成果はどうか。

**A** 東京で2回、大阪で2回、本市への定住をP



定住フェアの様子

Rしたが、1日に10組ぐらいが本市に相談があった。大阪では本市を絞り込んでの相談という状況ではなく、東京ではある程度町を絞り込んで相談に来ており、相談内容も濃いと感じている。

**Q** 空き家バンク登録件数30件で、10件の成約というかなり高い成約率で、登録件数を増やせば定住獲得できる確率が上がる。定住促進という意味で登録件数が増えるような施策をお願いする。

空き家バンクの取り組み目標はあるのか。取り下げ件数が随分あるが、その理由は何か。

**A** 空き家バンクの登録件数は、本年9月現在で15件と昨年度の倍のペースとなっており、今後も登録件数が増える施策を検討していく。

取り組み目標としては、長期総合計画の中で

31年度までに成立件数20件と掲げている。

取り下げの原因については、家主が市と民間に同時に登録している場合があり、民間で契約が成立した場合に取り下げられた可能性がある。

**Q** 本事業については、民間の事業者との連携が大事と思うが、事業のやり方、仕組み作りについて問う。

**A** 本市では市内の宅建業会と協定を結び、市内の空き家情報を共有・連携している。また、県内の市町、司法書士、宅建業会等様々な業種の方が加入している県の交流定住促進協議会に加入しており、アドバイザー派遣制度を活用して定住交流の促進を図っていく。

### 【教育費】

**Q** 「カウンセリング・相談活動事業」について、いじめや不登校の児童生徒への支援の現状はどうか。

**A** 「心の教室相談員」を小学校22校中13校、中学校全校に配置、「教育相談指導員」を教育委員

会に1名配置し、早期発見、早期解決、再発防止に取り組んでいる。不登校への対応ではスクールカウンセラーを中学校9校と三原小学校に配置、併せて、家庭訪問支援員も活用し、早期復帰への支援を継続していく。

### 【土木費】

#### 市営住宅の管理について

**Q** 市営住宅へ保育施設や介護施設併設の検討及び老朽化した市営住宅の管理について聞く。

**A** 本市では、支援が必要な高齢者を対象としたシルバーハウジングを35戸設置しているが8戸空室である。問題点を検証



シルバーハウジング

して事業の運営を推進していく。また、老朽化した市営住宅の管理については、必要に応じて順次解体を行うとともに草刈り等を実施し、安全確保に努めていく。

### 【討論・採決】

#### ・反対討論

天満市政は「住民福祉の向上」への転換が図られていない。大型事業のツケが市財政と市民生活を圧迫している。基金残高は過去最高の119億円を有し新庁舎など今後的大型事業につき込もうとしている。国保も多額の基金を持ち、市民の願いに応えていない。

#### ・賛成討論

一般会計及び全ての特別会計において実質収支が黒字であり、各財政指標の視点からも健全な財政状況が維持されている。また、市債残高も22億円減少していることから「元氣な三原」実現に財政改革と地域活性化が実現された。

※採決の結果は、14:15ページをご参照ください。



# 平成27年12月定例会の概要

12月定例会は、平成27年12月7日（月）から12月21日（月）までの15日間の日程で開催しました。今定例会では、2千220万円の一般会計補正予算（第4号）をはじめ、41議案を審議しそれぞれ可決・認定し、2件の特別委員会の設置について可決しました。ここでは補正予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介いたします。

## 補正予算特別委員会（質疑の抜粋）

### 〔総務費〕

#### 人件費の減額について

Q 人件費1億7700万円の減額についての内訳を求める。

A 今年度の職員予定数を836人としていたが退職や育児休業などで11人の減員となった。

さらに一定期間において育児や病気などで休職した23人分の給料、職員手当、共済費などの減額により総額で1億7700万円の減額となった。

### 〔教育費〕

### 運営事業

#### Q リージョンプラザ屋

内プールと南館の雨漏りの場所及び状況について問う。



三原市すなみ海浜公園 サメ防止ネット

#### A

屋内プールについては、屋根の端の部分に雨漏りの原因となる隙間を確認している。南館については数年前からの防水



やまみ三原市民球場 LEDスコアボード

シートの破損によるもので、現在は広範囲にしみを確認している。

### 〔債務負担行為〕

#### 指定管理者の指定について

Q 指定管理期間が3年間であった2施設が、5年間になっている。その理由と、指定管理料の増額について説明を求める。

A すなみ海浜公園、大和オートキャンプ場につ

## 次回定例会 開催予定

（平成27年12月21日現在）

| 月 | 日  | 曜 | 開会予定時刻 | 会 議            |
|---|----|---|--------|----------------|
| 3 | 1  | 火 | 10時～   | 本会議 開会         |
|   | 2  | 水 |        | 常任委員会（総務財務委員会） |
|   | 3  | 木 |        | 常任委員会（厚生文教委員会） |
|   | 4  | 金 |        | 常任委員会（経済建設委員会） |
|   | 7  | 月 |        | 補正予算特別委員会      |
|   | 9  | 水 | 13時～   | 本会議 総括質問       |
|   | 10 | 木 |        | 本会議 総括質問       |
|   | 11 | 金 |        | 本会議 総括質問       |
|   | 14 | 月 | 10時～   | 予算特別委員会        |
|   | 15 | 火 |        |                |
|   | 16 | 水 |        |                |
|   | 17 | 木 |        |                |
|   | 18 | 金 | 14時～   | 本会議 閉会         |
|   | 23 | 水 |        |                |

いては、これまで事故無く、順調に経営をされていることから継続的、長期的な視点で運営を行うために5年にした。

指定管理料の増額は、すなみ海浜公園のサメ防止ネットの管理運営を、

三原運動公園のLEDスコアボードの点検管理をそれぞれ市の直営管理から指定管理者が行うためである。

※採決の結果は、15ページをご参照ください。

## 平成27年12月定例会 一般質問

# 市政を問う

今定例会では12月9日、10日に一般質問が行われ、16人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、1人2項目以内に要約して掲載しました。掲載事項は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いてあります。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。（会議録の製本には、議会終了後おおむね3カ月を要します。）

HPアドレス  
<http://www.city.mihara.hiroshima.jp>  
 ↓  
 市議会  
 ↓  
 会議録検索



たかき たけこ  
高木 武子 議員

## 人口増加への取り組みについて

**問** 出産期女性の労働力率はどうなっているのか。

**答** 20歳から39歳までの平均では67・7%であるが、結婚や出産で辞めるケースがある。結婚、出産、子育て期に仕事が続けやすい環境の整備が必要である。

**問** 育児休業の普及率はどうなっているのか。

**答** 県内事業所において、労働協約、就業規則等に明文化しているのは、69・3%。取得率は男性5・1%、女性は93・2%であり、男性も含め育児休業制度を利用しやすい環境の整備が人口対策につながる。

**問** 不妊検査の助成は、いつからするのか。不妊治療の助成をどう考えているのか。

**答** 県が、35歳未満の不妊検査を行う人に対し、検査に要した負担額の2

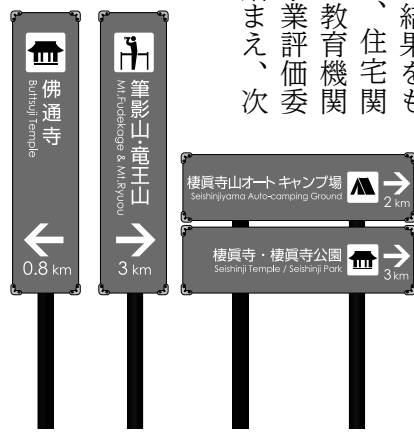
分の1、上限5万円を助成しているが、その対象外の35歳以上40歳未満の人について、平成28年度の実施を検討している。不妊治療の助成について、今後検討していく。

## 三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

**問** 6次産業化による「みはらの森づくり」について検証事業完了後、市独自の予算化をして、事業を継続するのか。

**答** 調査研究の結果をもとに、地域住民、住宅関連企業、金融、教育機関等で構成する事業評価委員会の検証を踏まえ、次年度以降の事業の継続性及び支援策等を検討する。

**問** 地域おこし協力隊の役割



観光案内の看板（イメージ）

目と定住化を含めた考え方があるのか。

**答** 地域おこし協力隊は、農林業への従事及び支援活動、地域資源の発掘及び活用に関する活動等を任務とし、中山間地域の交流拡大、定住促進等に取り組んでいる。また、活動終了後の定住・定着に向け生活支援等を行うこととしている。

**問** 観光案内の看板の設置について、平成28年度3月には20カ所の設置完了となっているが、何を

**答** 本市の観光戦略プランに基づき、主要観光施設として定めた市内24施設を対象に、迷うことのない案内と、通過する人にも立ち寄りを促せるよう整備する。

## 豪雨災害に備えて 沼田川の立木等の管理は



まさひら ともはる  
政平 智春 議員

**問** 茨城県常総市で、9月に豪雨災害が発生した。総雨量は、栃木県の日光市で647・5ミ

リ、宮城県丸森町で536ミリを観測している。本市においても196

7年7月9日に発生した豪雨によって、20人の、尊い命が奪われる大災害に見舞われている。

**答** 本市の中心部を流れている沼田川について、河川内に立竹木があるが、豪雨の時、流れを妨げるものではないか。

**答** 広島県では、河川の状態を把握するため、目視による河川の巡視及び出水期前に堤防、護岸等の変状を把握するため、定期点検を実施している。

この巡視及び点検により河川内に繁茂している立ち木等の状況を把握し、治水上支障となる立ち木については、早期に

対応を必要とする箇所から伐採を行っている。

**問** 鬼怒川水害のような500ミリを超える豪雨時、現在の堤防で耐えられるのか。また、多くの

支流があり、本流の水位上昇に伴い支流の水位も上昇するが、支流の強度は豪雨に耐えられるのか。

**答** 堤防の薄いとこについて集約的・重点的に定期点検を実施している。支流の管理に

ついて、広島県では、沼田川流域において椋梨川や仏通寺川等の河川を管理しているが、沼田川本川と同様に定期的な河川の巡視及び点検を実施し、障害物の有

**問** 無及び堤防護岸等の状況把握に努めている。



巨木が生い茂る沼田川

る以上、想像を超えたものがあるが、可能な限り減災の考えに立って、避難場所の確保、指定などの状況はどのようになっているか。

**答** これらの河川においては、豪雨時の水位により氾濫注意水位、避難判断水位及び氾濫危険水位などが設定され、各水位の状況や今後の雨量予測、河川巡視等の情報を総合的に検討を行い、避難所の開設準備、避難勧告及び避難指示の発令等を判断しており、市民にはそれぞれの情報をメール配信システムやホームページなどにより周知している。





寺田 元子 議員

## 大型事業の見直しで財政健全化を

**問** 現在本市が抱えている608億円の地方債の要因には西部住宅団地の16億円の損失や駅前への53億円の投入など過去の大規模事業の失敗があるがその認識はあるか。

**答** 西部住宅団地の例は失敗と言わざるを得ない。大規模事業への投資は財政に与える影響が大きく、実施の可否は慎重にとの指摘はそのとおりだ。

**問** ①箱物で駅前東館跡地は活性化しない。機能的スペースとして活用すべきではないか。

**答** ②工業団地の企業誘致には市独自に48億円も投じてきたが、企業呼び込み型の本郷工業団地造成はやめるべきでは。

**答** ③市費10億円投資となる松浜2工区埋め立て中止を。

**答** ④新市役所庁舎の規模縮小への検討はどうか。

**答** ⑤身の丈にあった財政にするには今後4年間の建設債発行を120億円削減すべきではないか。



未着工の松浜2工区埋立予定地

**答** ①魅力ある駅前にするため、官民連携による事業化を実現したい。

**答** ②雇用の場作りに不可欠。市の負担額については県と協議する。

**答** ③現在、工事に着工していない。県の対応方針を確認の上検討したい。

**答** ④新庁舎面積は基本計画より縮小した案を考えて

いる。  
⑤大規模事業を抑制し地方債残高を縮減したい。

## 国保引き下げに市長決断を

**問** 「国保をよくする会」から4410筆の署名で引き下げ要望が市長に出された。300万円所得、4人世帯の国保税は51万3千円になるが市長の認識を問う。5億8千万円の国保基金や法定外繰り入れ、国からの1億円支援金などを活用し、国保税を3年前の値上げ以前の税率に戻すべきではないか。

**答** 被保険者の所得は年々減少し、所得に対する税負担が大きくなっていくと認識している。来年度の税率見直しは今後の財政状況を慎重に見極めながら検討したい。

**問** 市民が税負担に苦しんでおり市長としてどう政治判断するのか。

**答** 基金がなくなつたとき、税を引き上げるか法定外繰り入れをするかなど財源確保の検討を行う必要がある。



力田 忠七 議員

## 三原市歴史民俗資料館移設について

**問** 現在円一町にある歴史民俗資料館を駅前西館の店舗撤退の空床に移設し、瀬戸内三原築城450年事業のイベントのテーマにしてはと考える。

現在進めている店舗誘致の方針を、文化を育む施設利用に転換すべきと考えるがどうか。

**答** 駅前西館1階のスーパー閉店後、中心市街地活性化及び空洞化の防止、買物困難者への対応の目的で、県内食品販売系事業者に対して、誘致活動を行ったが、専用駐車場等が確保出来ないことなどから誘致には至っておらず、現在改めて事業者を公募している。公募が困難となつた場合は、公共利用も視野に検討に入りたい。その際は三原築城450年事業の実行指針「三原の歴史や文化を観よう、魅せよ

う」の展示スペースとしての活用も考えている。また、歴史民俗資料館の駅前の移転の提案は、新庁舎整備に伴う、西館の空床の防止や、公共施設のあり方の視点から検討する。

## 瀬戸内サイクリングロードの建設について

**問** 三原の最大の魅力は、瀬戸内海に浮かぶ多島美の景観であり、筆影山、葉田の竜王山から白滝山につながる稜線は、風光明媚な景勝といわれ、多くのハンターやカメラマンが訪れている。この稜線に

サイクリングロードを設けて、観光開発を行ってほしいと考えるが。  
**答** 提案のルートは、市道として利用されている区間と新たに整備を要する区間を合わせたサイクリングロードであるが、新設ルート区間は急峻な地形であることなどから、早急に整備することは困難と考える。今後、開通が予定されている林道久和喜竜王線の利用状況や、サイクリスト等のニーズを踏まえ、建設の必要性について検討する。



白滝山からみた瀬戸の島



乗馬初体験 最高に楽しかったよ！

## 体験型ホームステイについて



徳重 政時 議員  
とくしげ まさとし

**問** 大和町で初の体験型ホームステイが実施され、須波小学校の5年生23名と広島市の三育学園小学校の4年生20名が、民泊や乗馬、収穫や工作など他にないユニークで有意義な体験をした。来年度も3校の申し込みがあるが、県による財政支援は来年度で終了の予定である。本市の物心両面での支援について問う。

**答** 児童にとつては、他では味わえない貴重な体験ができたと思えてい。今後、現地の状況に応じたプログラムの開発や情報の提供、保護者の負担軽減に努めるよう学校とも協議する。

**問** また、三次市立和田小学校の5年生15名が、佐木島で海の暮らしの体験活動をした。沿岸部と中山間地の子供たちが強い絆で結ばれ、様々な交流が生まれることと思うがどうか。

**答** 体験活動の実施場所として佐木島を活用するために、食事の提供や活動のプログラムの開発、環境整備や広く情報発信に取り組む。

## 沿岸部の観光拠点化について

**問** 「すなみ海浜公園」一帯を観光の拠点にして

は」の再度の質問で、須波新駅設置の可能性の有無について聞く。

**答** 建設費用が全額地元負担となる上、利用者の減少と事業の採算性が確保できない等をJRと再認識し、現状では新駅の設置は困難である。

**問** 観光地の案内看板の設置状況と今後の計画について問う。

**答** 主要観光施設として市内24施設が対象。平成30年3月までに、看板設置35カ所と施設表示枚数61枚を整備したい。迷う箇所を優先的に整備する。

**問** さぎしまセミナーハウスを児童の体験活動の場に、また、サギ・セミナー・センターを一般利用の宿泊施設として活用し、地域の関係団体による指定管理者制度を導入してはどうか。

**答** 佐木島は重要な観光資源であり、振興を図るためには地域住民と協働して観光・交流・誘客の取り組みが必要。交流人口の拡大や地域活性化に向けた取り組みを推進する。

## 高齢者の身元保証人対策について



中村 芳雄 議員  
なかむら よしお

**問** 一人暮らしの高齢者から、身元保証人がいないため困っているとの相談を受けた。身元保証人に対する相談体制等について問う。

**答** 例として、病院を退院後、施設入所のための身元保証人がいないという相談が2件あり、本人の状況から、成年後見人制度を利用し、家庭裁判所が後見人を選定して対応した。

また、相談体制として、委託による相談窓口、並びに民生委員による巡回相談事業や関係機関と連携する等、様々な相談に対応している。

**問** 日常生活の中で、行動を起こそうとした時、身元保証人を立てることが必須の場合、何も行動できないのではないか。身元保証人に代わる事例について問う。

**答** 入院の場合は、病院

の実態を鑑み、糸崎駅にエレベーターの設置を実現すべきと考えるが見解を問う。

**答** 糸崎駅は、国の示す設置要件には該当していないが、周辺には医療機関や大規模な事業所等が立地し、また山陽本線の乗り継ぎ駅となっており、高齢者や障害者を含めた多くの皆さんの移動の円滑化を推進する必要があることから、本市としてもバリアフリー化を進める鉄道駅であると考えている。

今後は、糸崎駅周辺の町内会等と連携を図りながら、鉄道事業者及び国とエレベーター設置の実現に向け協議を積極的に行う。

## 「糸崎駅にエレベーターの設置を」について

**問** 今後、ますます高齢化が進む中、鉄道は日常生活における移動の利便性を確保する重要な手段と考える。

現在、国土交通省が推進する鉄道駅のバリアフリー化に関する支援制度を活用し、糸崎駅利用者



糸崎駅 連絡橋





伊藤 勝也 議員

## 名誉市民から寄贈された蔵書等の扱いについて

**問** 名誉市民大田堯先生より寄贈された2千冊余りの蔵書等が本郷公民館の倉庫で、なおざりにされている。11月27日にNHKの「戦後の日本教育」の取材があったが、現場での取材ができなかった。

**①** なぜこのようなことが起きたのか。  
**②** なぜ寄贈された蔵書等をなおざり扱いするのか。芸術作品は、大切に保管するが、学術的な図書は、価値がないということなのか。  
**③** 今後どのように対処するのか。

**答** 公民館の旧図書室の書棚に保管しているが、研究者や学生が訪れて資料研究をしたり、また一般市民に大田先生の功績を実感していただくには不十分な環境と認識している。

**③** 今後の対処については、保管、展示場所が現在の場所ではないのか、先生ご出身の船木地域の公共施設で適切な場所の検討を含め、保管、展示方法を改善したいと考えている。



寄贈された2千冊余りの蔵書等

**答** 早速改善に向けた取り組みに着手したい。場所の選定や保管、展示方法について、地元の方、また寄贈された方との協議、協力をお願いすることも必要かと考えている。可能な限り早期に完了するよう努める。

**問** 寄贈された方、本市名誉市民の大田先生に対し非礼きわまる部分があると私は思っている。教育長に部長答弁を確認の上、答弁をお願いする。

**答** 大田先生の功績の研究や継承等をする上で、より望ましい環境をできるだけ早期に整備していく。



仁ノ岡 範之 議員

## 「きれいな三原まじづくり」について

**問** 「きれいな三原まじづくり」条例が制定されて4年が経過する。市担当課においては、日々、市内の環境美化及び保護並びに清潔で安心なまちづくりを推進するため、市民や市民団体との協働で諸施策を実施していることと思う。

**答** しかし、先の市議会報告会で「道路沿いにたばこの吸い殻やごみがたくさん散乱している。市はパトロール等行っているのか」という厳しい指摘があった。市はこれまでに対策としてどのような施策を立案し、実施してきたか。

**問** また、条例施行以降では週1回の環境美化重点区域での巡回パトロール、市内全域への広報車による周知・啓発、禁止行為の呼びかけの実施、環境美化重点区域や喫煙制限区域への啓発看板や路面看板を設置し、周知・啓発を行っている。

**答** しかし、一定の成果はあったが、市内全域では、ポイ捨てごみの散乱などが見受けられ、実効性には課題がある。今後、市民協働の下、良好な環境の保全及び推進に努める。

**問** 10月に西野川の清掃活動を実施した。草刈機30台、小中学校の児童・生徒、保護者、先生と地域の約200人の参加者があり、草刈りやごみの収集を行い、川が大変きれいになった。しかし、清掃活動が終わった次の日から川へたくさんのごみが投げ込まれて困っている。



西野川の清掃を行う宮浦中学校生徒と地域の皆さん

**答** そこで、環境美化運動の一環として、道路・河川をきれいにするための看板やのぼり旗などの啓発グッズを作成して、市民や市民団体等と一緒に事業推進してはどうか。

**問** 提案いただいた看板やのぼり旗などの啓発グッズを作成し、市民や市民団体等と一緒に事業を推進する。





あんど  
安藤 志保 議員

## 平成28年度予算編成方針について

**問** 「観光が三原市を支える産業の一つとする」について、観光産業におけるステークホルダーは誰と捉え、どのような働きかけをしてきたか。「市役所の各部署において観光の視点を持つ」について、市長は職員に何を期待しているか。

**答** 観光産業とは、観光に伴って発生する交通、宿泊、観光のあつせん、宣伝を行う事業活動。市内周遊観光客は増加傾向で観光PRテレビ番組放送後、紹介した店舗に行列ができるなど効果を確認している。観光産業（スイーツ・カフェ）振興事業では市内の和洋菓子店、カフェ事業者と連携、また、地元食材の使用で経済効果の幅を広げている。一部の農業生産法人や農家が野菜やお米を飲食業者と直接契約している事例もある。「三

原市漁協推奨の店」の看板を掲げた飲食業者は十数店舗。三原観光協会で宿泊利用者の目的や要望に応じた施設紹介や予約受け付けを行っており、週末の宿泊が増加傾向にある。

各部署で観光の視点を持つとは、職員が本市の

## 450年の時を知り、未来につなげる新聞



三原を知ろう、知ってもらおう！

三原の光を観よう、魅せよう！

魅力について認識を深め、交流人口の拡大、おもてなしにつながることを業務に取り入れる。また、三原を自慢できるよう、「三原を知ろう、知ってもらおう！」をテーマとした築城450年事業の情報誌「浮々城々」を発行している。

## 事業レビューについて

**問** 2回目の事業レビューが行われた。結果公表について説明いただきたい。事業レビューを継続すべきと考えるがどうか。

**答** レビュー結果の最終取りまとめは、新年度予算への反映状況を踏まえ2月頃に公表予定。今年度は、無作為抽出による市民判定者の導入により、市民の納税者や受益者としての視点から意見を得られた。今年度の手法を基本に、見直すべきところは見直して、来年度も継続する方針。

## ●その他の質問事項

「ポポロ」の活用



かむら  
加村 博志 議員

## 地域の文化財の保存と有効利用を

**問** 本郷駅近辺には小早川隆景公ゆかりの高山・新高山城跡や米山寺、佛通寺、楽音寺等の寺院、女王の滝、瀑雪の滝等の景勝地、御年代古墳に代表される古墳群もあり、浮城築城前の小早川隆景公の軌跡をたどり、本郷地域の魅力も引き出すには、どのような事業計画を検討されているのか。

**答** 本郷町観光協会や新

運行などを検討している。

**問** 三太刀遺跡は発掘調査を進めてこられ、多くの古墳や出土品が確認され、貴重な資料が発見された。元の様相が学べる説明板や資料館を設置してはどうか。

**答** 第8号公園内に三太刀遺跡関係の紹介ができる場所の確保、銘板、案内看板等の設置を協議している。



墓地和8号公園になる三太刀山

## 沼田川の防災について

**問** 近年の異常な集中豪雨による堤防からの越水やパイピング現象による堤防の崩壊など、生活環境に不安を感じている。住民の不安解消と安心して生活できるように河川内の立竹木を計画的に伐採して欲しいがどうか。

**答** 国や県に対し、防

災・減災対策に必要とする予算の拡充を要望するとともに、地域住民の不安な生活が一日も早く解消できるよう河川管理者に対し強く要望する。

**問** 広島県と本市が連携し、沼田川が氾濫した場合、危険性や対策、避難勧告、避難指示が適切に指示できるよう発令者を対象に定期的に防災研修などを実施する組織、災害対策協議会等を発足してはどうか。

**答** 大規模な河川災害を想定し、平素から各種訓練や研修に参加するなど、これまで以上に担当職員の災害対応能力の向上に努める。また今後、災害協議会の発足や答申案を踏まえた対策についても検討する。



こにし まさと  
小西眞人 議員

## 投票率向上の取り組みについて 「期日前投票所の拡充を」

**問** 近年、若者をはじめとして有権者の投票率が低下しているが、本市の現状と課題はどうか。

また、有権者の投票の利便性向上策として、期日前投票所の拡充を考えてはどうか。

**答** 本市においても、投票率は低下傾向にあり投票率の向上については大きな課題である。

総務省の「投票環境の向上方策等に関する研究会」における中間報告では、3点挙げられている。①ICTを活用した投票環境の向上②期日前投票等の利便性の向上③選挙人名簿制度の見直しがある。

今後の公職選挙法改正の動向に期待するものもあるが、現行法で対応できるものは、期日前投票所の拡充である。

**答** 現在、国の基準に従って、第1

への設置があるが、本市においては衆議院議員選挙において、3つの選挙区を抱えている現状があり、市特有の課題がある。今後、研究していきたい。

## 子供・子育ての充実について

**問** 昨今の子育て環境は、結婚・出産に対する価値観、子育てに対する負担感、また経済的な不安感で急激に変化している。これを解消するため、きめ細かい子育てサービスが必要である。経済的な支援として、多

子世帯への保育料の軽減措置を拡充すべきと考えるがどうか。



広島県子育てサポートステーション  
あいあいキッズ

子を小学校就学前までとして、保育所等を利用する児童が2人以上いる場合、2人目を半額、第3子以降を免除している。現在、国において、現行の就学前から小学校3年生以下までに拡充する案の検討がされている。

**問** 国の動きに遅れないよう検討を始めている。

**答** 商業施設に置く育児サポートセンターの今後の実施見込みはどうか。

**答** 設置した広島県から、平成28年度以降の事業計画をお願いしたいとの申し出がある。市が設置者として継続した場合、経費負担等の課題もあり、現在検討中である。可能な限りサービス低下を招かないよう検討する。



しょうだ よういち  
正田洋一 議員

## 駅前西館スーパー撤退後の現状と今後

**問** 駅前西館のスーパー撤退後の現状と今後について聞く。また、中心市街地活性化基本計画との整合性についても聞く。

**答** スーパー跡地については、4月の撤退申し入れ後、中心市街地活性化や空洞化対策のため、また、駅周辺や離島在住の市民などの買物困難者への対応という観点から、食品販売系事業者16社に対して誘致活動を行ってきたが、出店には至らなかった。このため、現在、県外などに枠を広げて、公募を行っている。その結果、出店希望がない場合、暫定利用や公共利用など、新たな検討に入る。

中心市街地活性化協議会やまちづくり会社の活用について検討する。



シャッターが閉まった西館1階部分

**問** 現在の課題は何かと考えた場合、必要なのは買い物施設であることから、市として支援を考えた上で買い物機能を設置する考えがあるか聞く。

**答** 買物困難者対応のため、食品販売系事業者を公募している。買物困難者対策としての行政的な支援については、慎重な取り扱いが必要であるが、実施可能性を研究する。

## 28年度予算編成方針から

**問** 予算編成方針では、事業の重要度、優先度を明確にして選択と集中による行財政改革を遂行するとある。しかし、来年度以降の予算編成方針をみた場合、私が警戒するのは大規模事業の予算の膨らみとお祭りやイベントなどが、経済性・継続性を考慮されないまま予算化されることである。

**答** 大規模事業については、平成31年度度まで延長した新市建設計画において、庁舎・斎場・消防庁舎及び本郷工業団地事業等を予定している。それ以外の施設は、緊急性・必要性及び将来性を見極め議会とも議論する。また、公共施設マネジメントの観点から整備の再整理が必要と考えられる施設設置については、当初の予算編成から見送る。





かめやま ひろふみ  
亀山弘道 議員

## 教育条件としての教職員の勤務を正常化を

**問** 休憩時間に子供は担任と遊べるか、担任は日記や生活ノートに十分コメントできているか等、子供たちが最善の利益を享受できていない。超過勤務の実態はどうか。

|           |      |
|-----------|------|
| 10月・全体    | 518人 |
| 20時間未満    | 31人  |
| 20～40未満   | 102人 |
| 40～60未満   | 136人 |
| 60～80未満   | 159人 |
| 80～100未満  | 68人  |
| 100～120未満 | 14人  |
| 120～140未満 | 6人   |
| 140時間以上   | 2人   |

**問** 学校職場に「家族の日」を設定して、せめてわが子の誕生日等は、定時に帰宅できるよう支援してはどうか。

**答** 各学校に紹介する。昨年12月から義務付けられたストレスチェックについて、市内には50人を超える学校はないが

**答** 教育委員会は実施するか。

**答** 実施方向で検討する。

**問** チェックで課題が見つかったらどうするか。

**答** 課題が見つかったら受診を勧め、医師の診断に基づき、健康回復に努めさせる。

**問** チェック項目にある「いつもイライラしている」「ゆう鬱」という状況では、信頼関係が生まれず、どんなに適切な指導も大きな成果は望めない。

**答** 子供たちに寄り添い、子供たちの成長に必要なための教育条件整備を進める。



大休憩の様子

**問** 教育条件としての教職員の不健康を正常化し、子供たちの膨大な不利益をなくすため教育長の決意を表明してほしい。

**答** 教職員の健康保持は重要である。業務改善の推進・学校の組織化・健康管理システムの充実に努める。

## 健康寿命の延伸に向けて

**問** 現在、平均寿命と健康寿命との差は本市で男性9・8年、女性14・6年だが、拡大すれば、医療や介護を必要とする期間が増大すると予想される。逆に差を縮小すれば、個人の生活の質の低下を防ぐことになる。身近で魅力的な散歩コースの開発と周知が有効ではないか。

**答** 「みはら100ウォーキング」という本の発行・トイレ設置や案内板等の表示も必要だ。  
**答** ウォーキングコースを募集するなどコース選定に取り組む。環境整備については、関係部署とも連携を図る。



ひらもと えいじ  
平本英司 議員

## スポーツ（武道）大会の開催が可能な施設の開館時間について

**問** 本市には、リージョンプラザをはじめ白竜ドーム、コミュニティセンターなど、大きなスポーツ大会の開催が可能な施設が数多くある。本市の条例や規則では、白竜ドームの開館時間は8時。他の施設のほとんどが9時開館となっているため、関係者が多くいる団体ならまだしも、少ない団体では運用が難しい。

**答** また、大会開催時間を早めなければ終了時間が必然的に遅くなってしまう、帰宅等に影響が出る恐れがある。大会の多くは日曜日開催で、子供たちメインの大会がほとんどであり、大会の終了時間を少しでも早め、月曜日の学校に影響が出ないように配慮することも必要だ。

①開館時間の変更はできないのか。  
②市内にある施設の開館時間が場所によって違うものがあるが、開館時間を利用者が使いやすい時間に統一すべきではないか。  
③ただし書きのような形で「教育長が必要と認めるときは、利用時間を変更することができ」とあるが、このような申請が出たことがあるか。また、どのような時に認めるのか。

**答** ①申し込み時に開館時間等の相談を受けた際、その内容を判断し、許可をしている実例がある。  
②しかし、事例や対応者によって異なる許可判断を防ぐためにも、今後、統一した許可要件等を整備していきたい。  
③開館時間等は合併時の協議により継承してきた



大きい大会の開催可能な体育施設（三原リージョンプラザ）

ものであるが、各施設の利用実態と利用者の要望等を精査した上で、開館時間の統一も含めて検討する。  
③前日の準備が不可能な場合、試合等の規模や日程等で通常の開館時間では間に合わないことが明確な場合には、規則のただし書きにより許可した事例がある。今後、利用者の利便性や公平性を考慮し、開館時間、利用時間変更の許可基準等を整理し、使いやすい施設運営に努めていく。



七川 義明 議員  
しちかわ よしあき

## 市民協働のまちづくりについて

**問** 情報を共有し、市民が参加しやすく市民の地域活動がしやすい仕組みについて問う。

**答** 社会の多様化が急速に進み福祉、防災、環境、教育等の課題等、市民ニーズは多様化している。これらを解決するため、市民協働のまちづくり指針、推進計画を作り取り組みを進めてきた。

**問** また、協働フォーラムの開催、人材育成講座の開催、市内部各課に協働推進員の配置等に取り組んできた。

**答** 住民自治組織等に対し、まちづくり活動に関わって補助金を交付している。一方で活動を担う



三原の町並み

人材不足など新たな課題が生じている。地域担当職員の人材バンク制度構築など第2期計画に反映していく。市職員の地域活動参加については重要であり、各学校はそれぞれ状況に応じて地域活動への参加を視野に入れ実践していく。

**問** 大災害が想定される中、自助・共助・公助における現状、自主防災組織の設立促進と既成組織の向上策について問う。

**答** 大災害において行政が全て救助することは困難であり、自助・共助による活動が重要である。現在、自主防災組織は108団体、率は48.2%であり、未設立地域へ職員が直接出向き、設立の協議をしている。また、高齢化や人材不足が課題になっている。出前講座の開催や補助制度等の説明、地域防災リーダー養成講座の取り組みを行う。共助の担い手である住民や災害時には最前線で活動する市職員には日頃から自主防災会に積極的な参加を促していく。

## 教育行政について

**問** 教育行政の基本的考えを問う。

**答** 全ての子供に適切な教育の場を確保することであり、学校にいきいたいと思う学校づくりが必要である。義務教育の中で一人残さずしっかりとした基礎学力をつけていくことが責務であり、一人残らず輝いてほしいとの思いを持って進めていく。



松浦 良一 議員  
まつうら よしかず

## 河川の浚渫について

**問** ①1級2級の河川数と維持修繕管理業務内容について問う。

②県が管理する河川の内、市が移譲を受けている河川名はどの河川か。

③河川にかかる浚渫除去について、徹底した河川管理業務を望むがどうか。

**答** ①1級河川は7、2級河川は25河川でいずれも県が管理している。その主な業務は護岸高上



仏通寺川

げ、護岸根継工などの護岸修繕及び河川の巡視や災害復旧が主である。

②本市が事務移譲を受けている河川は、和久原川・西野川・干川で河道浚渫や護岸修繕を行っている。

③目視による巡視、護岸などの変状等の調査を行った上で、治水上、支障となる土砂などは早期に対応を必要とする箇所から浚渫を実施している。

現地の状況を十分に把握し、河道浚渫など適切な維持管理が図られるよう県に強く要望する。

## 請願と陳情書について

**問** ①天満市長誕生後の請願と陳情件数について問う。

②請願、陳情は処理されているか。

③八幡町の板迫井出堰災害復旧工事、大草三原線の早期完成、2級河川仏通寺川の改良、久井町小林的の信号機設置、久井町羽倉保育所跡地施設利用、八幡町天神橋幅などの扱いについて問う。

**答** ①陳情件数は平成25年度163件、26年度122件、27年度68件で合計353件である。

②町内会や自治会などからの要望については、総務広報課で受け付けし、要望内容に係る担当課が現地を確認する中で、具体的な実施などについて回答している。

③要望どおりに実現されていないものもある。

八幡川に架かる天神橋拡張の要望は、車両が橋に接触する自損事故があったことから要望を受けている。昨年12月末には、視線誘導標や注意喚起を促すコーナールールを緊急的に設置し、今年度は地元の理解も得て舗装補修や区画線の引き換え、視線誘導標の増設などを計画しており12月末までに補修の完了予定である。



# 常任委員会報告

(12月定例会付託議案審査)

## 総務財務委員会

議第132号「三原市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定について」

【要旨】行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法の規定により、本市の事務における個人番号の利用及び機関間の特定個人情報提供について定める条例を制定するもの。

### 【主な質疑の内容】

問 条例制定の趣旨は。

答 この条例案は、番号法によりマイナンバーが付された個人情報、いわゆる特定個人情報の取扱基準が、厳格に規定されたことに伴い、独自利用事務として、特定個人情報をも市役所内の他の事務との間でやり取りすることについて規定するものである。

この条例の整備によ

り、各職場における利用実態に合わせた特定個人情報とのやり取りを行うことが可能となるため、市民が福祉等の支給申請などの際、従前は求めていた証明書等の添付が不要となり、発行手数料の省略や複数の窓口をまわる必要がなくなるなど、市民の利便性の向上につながるものと考えている。

【要旨】呉線三原・須波間羽仁架道橋新設工事協定の締結について

議第135号「呉線三原・須波間羽仁架道橋新設工事協定の締結について」

【要旨】呉線三原・須波間羽仁架道橋新設工事協定を締結するもの。

### 【主な質疑の内容】

問 協定の金額の内、西日本旅客鉄道株式会社の負担は。

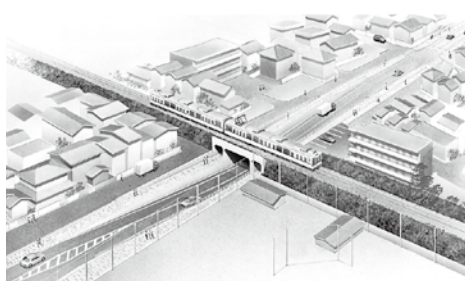
答 鉄道との立体交差については、国が定めた「道路と鉄道との交差に関する協議等に係る要綱」に基づき、鉄道事業

者と協議を行ったうえで工事を施行している。

その要綱において、既設の踏切を除却する工事に関しては、鉄道事業者側の負担とし、それ以外の工事は市の負担とすることが定められており、今回の西日本旅客鉄道株式会社社の負担は、踏切除却部分の費用である。

### 【採決】

採決の結果、議第132号ほか3件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。



円一皆実線の羽仁架道橋完成予想図

## 経済建設委員会

議第139号「三原市ゆめきやりあセンターの休止に関する条例制定について」

【要旨】新庁舎建設にあたり、議会機能の仮移転先として三原市ゆめきやりあセンターを利用することとし、公の施設としての機能を停止するため、条例を制定するもの。

### 【主な質疑の内容】

問 ゆめきやりあセンターの利用休止に伴う、

同施設利用者への対応について問う。

答 同センターにあるパソコン室の代替施設としては、サン・シープラザの旧テレワーク体験室を予定し、他の多目的ホール、会議室については、中央公民館、福祉会館などを紹介する。

議第140号「三原市公共下水道接続事業建設分担金に関する条例制定について」

【要旨】公共下水道への早期の接続を希望する市街化区域外の既存団地において、市が施行する公共下水道接続事業に要する費用に充てる建設分担金に關し必要な事項を定めるもの。

問 公共下水道への接続の同意が得られていない受益者及び居住していない空き家に対する建設分担金の徴収について問う。

答 同意がない場合でも、税に準じて強制的に徴収することになる。また、空き家につい

ても、建物が存在し、水道が接続されている限り、現に居住していなくても賦課の対象になる。

議第142号「議第145号「公の施設の指定管理者の指定について」

【要旨】地方自治法の規定により、公の施設の管理に指定管理者を指定するもの。

問 指定管理者に対しては、地域の活性化や通年誘客につながるような自主事業の積極的展開を求めたいと考えるが、市としての基本的な考え方について問う。

答 指定管理者制度を導入するメリットとして、民間事業者の専門的なノウハウを活用した、民サービスの質の向上や、施設の効率的かつ効果的な運営が考えられる。これらのメリットを活かすために、指導や協議を行っていききたい。

### 【採決】

議第139号ほか6件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

議第136号「三原市介護保険条例の一部改正について」

【要旨】行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法の施行に伴い、本市条例に必要な措置を講ずるため、条例の一部を改正するもの。

議第137号「三原運動公園の指定管理者の指定について」

議第138号「三原市白竜湖スポーツ村公園の指定管理者の指定について」

【要旨】地方自治法の規定により、公の施設の管理に指定管理者を指定することについて、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑の内容】

問 多目的広場の芝生の管理とあるが、芝生の状態が悪くサッカーのできる人工芝にしてみたいという要望があるがその考えはないか。

答 人工芝にしてフェンスを設けて、整備された

施設にしたいという思いはあるが、予算も伴うため課題として考えていきたい。

問 施設の不備・修繕を要するものの把握と修繕を行うための予算づけの方法はどうか。

答 スポーツ施設カルテを作り、修繕の必要の有無、今後の施設の方針等を検討している。また、公共施設マネジメントで施設の維持修繕について検討されることになっており、併せて計画的に対応していきたい。

【採決】

議第136号ほか2件について、全員一致、提案理由を了とし原案どおり可決した。



やまみ多目的広場

平成27年11月

臨時会議決結果

【全員賛成のもの】

| 議案番号   | 件名                     | 議決結果 |
|--------|------------------------|------|
| 議第125号 | 平成27年度三原市一般会計補正予算(第3号) | 原案可決 |

| 議案番号   | 件名                                   | 議決結果 |
|--------|--------------------------------------|------|
| 議第126号 | 三原市特別用途地区内における建築物の建築等の制限に関する条例制定について | 原案可決 |

平成27年12月

定例会議決結果

【賛否が分かれたもの】

| 議案番号   | 件名                                     | 議決結果 | 平本英司 | 正田洋一 | 安藤志保 | 萩由美子 | 児玉敬三 | 岡富雄 | 徳重政時 | 伊藤勝也 | 亀山弘道 | 政平智春 | 新元昭 | 高木武子 | 松浦良一 | 陶範昭 | 加村博志 | 谷杉義隆 | 中重伸夫 | 中村芳雄 | 岡本純祥 | 荒井静彦 | 梅本秀明 | 分野達見 | 小西真人 | 七川義明 | 寺田元子 | 力田忠七 | 仁ノ岡範之 |
|--------|----------------------------------------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 議第103号 | 平成26年度三原市一般会計歳入歳出決算の認定について             | 認定   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 議    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○     |
| 議第114号 | 平成26年度三原市国民健康保険(事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 議    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○     |
| 議第116号 | 平成26年度三原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について      | 認定   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 議    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○     |
| 議第117号 | 平成26年度三原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認定   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 議    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○     |

※賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 議長：議（議長は採決に加わりません）



【全員賛成のもの】

| 議案番号   | 件 名                                        | 議決結果 | 議案番号    | 件 名                                          | 議決結果 |
|--------|--------------------------------------------|------|---------|----------------------------------------------|------|
| 議第104号 | 平成26年度三原市ケーブルネットワーク事業特別会計歳入歳出決算の認定について     | 認 定  | 議第129号  | 平成27年度三原市国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）           | 原案可決 |
| 議第105号 | 平成26年度三原市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について       | 認 定  | 議第130号  | 平成27年度三原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）                | 原案可決 |
| 議第106号 | 平成26年度三原市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について           | 認 定  | 議第131号  | 平成27年度三原市介護保険特別会計補正予算（第2号）                   | 原案可決 |
| 議第107号 | 平成26年度三原市港湾事業特別会計歳入歳出決算の認定について             | 認 定  | 議第132号  | 三原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定について            | 原案可決 |
| 議第108号 | 平成26年度三原市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について            | 認 定  | 議第133号  | 三原市職員等の旅費に関する条例の一部改正について                     | 原案可決 |
| 議第109号 | 平成26年度三原市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認 定  | 議第134号  | 三原市税条例等の一部改正について                             | 原案可決 |
| 議第110号 | 平成26年度三原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について          | 認 定  | 議第135号  | 呉線三原・須波間羽仁架道橋新設工事協定の締結について                   | 原案可決 |
| 議第111号 | 平成26年度三原市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認 定  | 議第136号  | 三原市介護保険条例の一部改正について                           | 原案可決 |
| 議第112号 | 平成26年度三原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認 定  | 議第137号  | 三原運動公園の指定管理者の指定について                          | 原案可決 |
| 議第113号 | 平成26年度三原市小型浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について          | 認 定  | 議第138号  | 三原市白竜湖スポーツ村公園の指定管理者の指定について                   | 原案可決 |
| 議第115号 | 平成26年度三原市国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について | 認 定  | 議第139号  | 三原市ゆめきやりあセンターの休止に関する条例制定について                 | 原案可決 |
| 議第118号 | 平成26年度三原市東町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について            | 認 定  | 議第140号  | 三原市公共下水道接続事業建設分担金に関する条例制定について                | 原案可決 |
| 議第119号 | 平成26年度三原市中之町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について           | 認 定  | 議第141号  | 三原市法定外道路、河川等の管理に関する条例及び三原市道路占用料徴収条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議第120号 | 平成26年度三原市沼田西町松江財産区特別会計歳入歳出決算の認定について        | 認 定  | 議第142号  | 三原市白竜湖親水公園の指定管理者の指定について                      | 原案可決 |
| 議第121号 | 平成26年度三原市小泉町財産区特別会計歳入歳出決算の認定について           | 認 定  | 議第143号  | 三原市すなみ海浜公園の指定管理者の指定について                      | 原案可決 |
| 議第122号 | 平成26年度三原市本郷町本郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認 定  | 議第144号  | 三原市大和サイクリングターミナルの指定管理者の指定について                | 原案可決 |
| 議第123号 | 平成26年度三原市本郷町船木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認 定  | 議第145号  | 三原市棲真寺山オートキャンプ場の指定管理者の指定について                 | 原案可決 |
| 議第124号 | 平成26年度三原市本郷町北方財産区特別会計歳入歳出決算の認定について         | 認 定  | 発 第 5 号 | 特別委員会の設置について（新斎場建設調査特別委員会）                   | 原案可決 |
| 議第127号 | 平成27年度三原市一般会計補正予算（第4号）                     | 原案可決 | 発 第 6 号 | 特別委員会の設置について（築城450年事業調査特別委員会）                | 原案可決 |
| 議第128号 | 平成27年度三原市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）              | 原案可決 |         |                                              |      |

編集委員のつばやき

今号では議会報告会の模様を掲載しています。議会報告会では、お伝えする難しさを改めて感じました。また、多くのご意見をいただきました。この議会だよりも、議会を知っていただく大事な媒体です。皆様から寄せられましたご意見を踏まえ、今後ともわかりやすい紙面づくりに努めていきます。

正田 洋一

議会広報特別委員

正田 洋一・伊藤勝也・児玉敬三  
岡 富雄・亀山弘道・寺田元子  
力田 忠七

※「市議会だより」は、市役所一階ロビー・各支所・サンシープラザ・中央公民館・各地のコミセンでも配布しております。

三原市議会広報特別委員会

三原市港町三一五一  
TEL 6716137  
FAX 6314545

## 沼田西小学校の自慢

沼田西小学校は、自然に囲まれていて、とても静かな場所にある学校です。ぼくが考える沼田西小学校の自慢は「エイト」のあいさつと全校合唱です。

「エイト」のあいさつとは、笑顔で、いつも、止まってあいさつをすることです。この「エイト」のあいさつは、今年の4月、校長先生の話から始まりました。今ぼくたちは、この「エイト」をしっかりと意識してあいさつをしています。学校に来られるお客様からよく、「沼田西小学校のみなさんは、元気な声でしっかりとあいさつをしていますね」とほめられます。「エイト」のあいさつをすると、自分自身も、言われた人たちもみんなが気持ちよくなるのだということを実感しています。

もう一つの自慢は、全校合唱です。沼田西小学校は全校で、66人と人数は少ないですが、この少ない人数でも、高音と低音がしっかりと声を出し、笑顔で歌っています。ぼくたちはこの夏、生涯学習フェスティバルの出場に向けて、オーディションを受けました「心の中にきらめいて」「気球に乗ってどこまでも」の2曲を歌いました。オーディションを受けるまで、朝会や各クラスで練習をしてきました。なかなか声がひびかず、苦勞しました。まずは高学年が声をひびかせていかないといけないけれど、なかなかそれができませんでした。発声練習をしたり、何度も何度もくり返して練習をしたりしました。結果は合格にはなりませんでした。オーディション当日は、今までで一番みんなの心が一つになり、ぼくたちの精一杯の歌声を届けることができたと思います。

ぼくは、これからも自信をもって、沼田西小の自慢と言えるように、残りの時間を過ごしていきたいと思っています。また、後はいにもしっかり受けついでいきます。



# わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します  
— 連載第24回 —

## ありがとう、北方小学校

ぼく達が通う北方小学校は、今年度で閉校になります。来年度からは、北方小・南方小・船木小の3校が統合され、本郷西小学校となります。

これまで、ぼく達が毎年行ってきた行事は、全て最後になります。また、今年初めての行事は、北方小での最初で最後になります。例えば、11月に行われた学習発表会がそうです。今年は、最後の発表会ということもあって、ほとんどの発表が全校児童27人での発表でした。合唱や合奏、劇に全校で一生懸命取り組みました。今年は、感謝を伝えるスライドショーもあり、お母さんやお父さんに感謝の気持ちを伝えました。たくさんの方が涙を流しておられたと聞きました。感謝の気持ちが伝わり、うれしく思いました。

春の運動会では、組体操を全校児童で行いました。低学年も一緒なのでけがのないように注意して練習を重ねました。新しい技にもチャレンジしました。本番では、見事に披露することができました。

そして、統合する3校合同でのしめ縄作りは、北方小学校の最初で最後の行事になりました。教えてくださったおじいさんやおばあさんのおかげで、参加した全員がきれいなしめ縄を作ることができました。この行事は、忘れられない思い出になりました。

ぼくは、最後の卒業生の1人です。142年もの歴史がある北方小学校が閉校してなくなってしまうのは、とても悲しいです。

これからの行事を大切にやり組んで、北方小学校での思い出を作っていきます。

「ありがとう。北方小学校。」

